

令和4年度(2022年度)倉吉文化団体協議会国際交流事業

日韓親善写真家交流事業の開催(2022.9.1~29)

□張興均(チャン・フンギョン)写真展

主旨倉吉市文化活動センターでは、リフレギャラリー企画展として2013年より「日韓親善写真家交流事業」を開催して来ています。この企画は、元江原道芸総会長のチェ・ジスン氏の慧眼に適った春川市の写真家を順次推挙頂き、リフレギャラリーのディレクターがコーディネートしています。これまで、チェ・ジスン氏を筆頭に、シム・サンマン氏、パク・クアンリン氏、シム・チャンソプ氏、パク・ミンス氏、ズン・シ・クオン氏、ウォン・ゾン・サン氏、オー・イルツ氏と続き、本年はチャン・フンギョン氏を招聘することになっています。韓国江原道在住の優れた写真家たちの作品を、本県の写真作家たちに見ていただき、交流を図りたいと思います。

現代の写真アートは、「私たちの生活する現代社会が抱えている問題をひも解き、社会や美術の歴史への批判性を投影している作品」でなければならないと言われます。そんな意味で、これまでの作品はまさにコンテンポラリー・アートの範疇に入るものであり、現代に生きる私たち自身の息吹を感じさせるものでもあります。唯我独尊の趣味の世界を越えたフォト・アートの世界を、垣間見せる優れた写真展を開催いたします。

主催 倉吉文化団体協議会・倉吉市文化活動センター

後援 倉吉市・鳥取県中部地区日韓親善協会・鳥取県写真家連盟・中部地区各写真団体・マスコミ各社へ申請予定

開催期日 展覧会期間 2022年9月1日(木)~9月29日(木)

展覧会場 倉吉市文化活動センター リフレギャラリー

〒682-0817 鳥取県倉吉市住吉町77-1 0858-23-6095

受け入れ 倉吉文化団体協議会会長 計羽孝之

e-mail:figarofigaro@do4.enjoy.ne.jp 担当者TEL090-1351-7574

内容 会期は1ヶ月間とする。写真展に係る経費(写真のプリント、額装経費等)は主催者で負担。キュレーターによるギャラリートークの開催(2022.9.1.PM)

その他 展示について/キュレーターの指示に従って倉吉文化団体協議会事務局にて額装、展示する。

張興均(チャン・フンギョン)プロフィール

1996 韓国写真作家協会への入会

2007-2013 韓国写真作家協会洪川支部創立及び支部長

1999. 11 日本防府市写真文化交流展参加及び訪問

2006. 9 中国瀋陽市で開催された国際交流展への参加及び訪問

2007. 10 日本鳥取県写真文化交流参加及び訪問

2009. 7 日本鳥取県写真文化交流参加及び訪問(洪川支部会員)

2010. 5 中国吉林省長春市写真文化交流参加及び訪問
2010 江原写真文化賞受賞
2012. 7 中国吉林省長春市写真文化交流参加及び訪問
2012 洪川郡民大賞(文化芸術部門)受賞
2018-2019 江原写真大展推薦作家作品賞受賞
2019 江原写真大展招待作家
2019 江原芸術賞大賞受賞
2019 ドローンで見た山。リバーストーリー個展
2022 第12代写真作家協会江原道支会支会長

チャン・フンギョン(張興均)写真展

「水の変容」に寄せて

水は4℃で最も重い。温度が上がるとか、下がれば軽くなる。0℃を過ぎるようになれば固体(氷)になる。この時は、おおよそ10%も軽くなる。「氷山の一角」という言葉も、この10%に相当する。それは、90%が水中に浸ったずっと大きい塊があるという意味だから、温度が下がれば、ますます軽くなるという意味である。水温が、ますます上がり99℃に達すれば最も軽くなる。そして、100℃に達すれば、気体になって悠々と飛んで行ってしまふ。

地球上に多様な形態で存在する水。私の体、植物、土や岩属粒子…。その上は化学的に全然違った分子形態で存在したりするが、この世の中全体の水は、総量的に一定で変わらない。千変万化した水の存在感に唾然とする。

外部の影響が全くない水は、常に水平を維持する。しかし、少しの風が吹いても、揺れて他の粒子を干渉する。少しの温度差が生じて、軽い側に移動する。少しでも高低差があれば、下方に流れる。このような厳しい性質であり、水が動かないようになる瞬間は、存在しないのだ。谷を流れる水でなくても、流れを止められた湖中でさえ休むことなしに移動する。そしてその痕跡を残す。

隣接する粒子に干渉していること…。風が吹いていて、近所に影響を与えてる…。人里離れた地域が侵略されていること…。点の位置が座標 x, y, z で表される場合、高さは z の値である。水はいつでも $z=0$ に変わる。ゼロ z ゾーン～！私とその秘密に気づいたのは冬の間であった。垣間見たものがとても小さな部分であっても、それは絶えず動く水の粒子の足跡だ。ドローンで痕跡を探す。冷たい風の中、指も耳も凍りつく。モニターさえ凍りついてこれ以上飛ばすことができなくても…私の心はまだ熱くなっている。温度 -0°C 、はらはらする氷の境界線は、いつも熾烈なイメージがある。だから私は、さらに興味がわく。とても寒い日には、様相がすっかり変わっているが、そこには、空のゼロ z ゾーンがあるだけ。

江原道写真家協会会長

チャン・フンギョン (張興均)